

国の地域住民生活等緊急支援のための交付金で

地方創生先行事業などに1億円余

補正後予算額151億4,100万円（前年比103.3%）

約6億6千6百万円の減額となる平成26年度一般会計補正予算第10号が全会一致で可決されました。また、国民健康保険事業特別会計など12特別会計の補正予算も提出され、いずれも全会一致で原案可決されました。

地域住民生活等緊急支援のための交付金は、景気的好循環を地方へも拡大するために新たに国で予算化されたもので、奥出雲町へは約7千7百万円の交付金がありました。交付金を活用し、奥出雲町ではプレミアム商品券の発行や医療費無償化を全小中学生へ拡充など1億円の事業が企画されており、多くは平成27年度に繰越事業として実施される見通しです。（詳細事業は下記表を参照）

仁多庁舎整備事業5億8千万円の平成27年度への先送りや事業費の精算などで、総額は補正前と比べ大幅な減少となりましたが、前年比では3%、4億8千万円の増となっています。

平成26年度一般会計補正予算(第10号)で増額された主な歳出

地域消費喚起・生活支援事業		
プレミアム付商品券発行	3,000万円	20%プレミア、5月1日～
生活応援商品券交付	848万円	増税後の生活支援
子育て応援商品券交付	706万円	中学生以下1人1万円
奥出雲バル	150万円	飲食店利用促進
ふるさと旅行券	250万円	観光客誘致チケット発行
地方創生先行事業		
地方版総合戦略策定	700万円	まず戦略を策定
独身男女ニーズ調査・婚活支援	401万円	婚活支援ネットワークを構築
児童生徒医療費助成	2,126万円	全小中学生まで医療費無償化拡大へ
地域産業育成アドバイザー	100万円	専門家から助言をもらう
奥出雲産品販売促進	500万円	奥出雲産品カタログギフトを作成
若者シゴト戦略会議	300万円	若者の雇用対策を議論
建設業資格取得費用助成	340万円	除雪車免許などの資格取得を支援
入学支援	337万円	小中新入生への体育衣料費を助成
若者定住・少子化対策情報発信	219万円	子育てハンドブック等を作成
こどもにやさしい地域づくり	68万円	おもむつ替え台などを整備
子育て応援リユース	150万円	ベビーベッド等の再利用を促進
その他の主な歳出		
子育てへの経済負担対応	282万円	多子世帯への商品券配布
病院整備事業負担金	1,897万円	医師初任給調整手当分の追加
除雪経費増額	6,140万円	業務委託料や燃料、修繕費
土地開発公社用地買取	7,000万円	債務負担の今年度解消分

その他、県の交付金を活用し多子世帯へ1万円の商品券の無料配布、過疎債ソフト事業枠を2億円から3億9千万円へ

増額し、借金の実質額を抑えるなどの補正が行われています。旧横田町土地開発公社への未払債務5億4千万

円は、昨年度までに2億円が解消され、今年度はより早期に債務解消を図るため7千万円の返済が行われます。これにより、

当初18年かかる予定であったものが早期に解消されます。



まもなく発売されるプレミアム付商品券